

大学名	チーム名(プロジェクト名)
佛教大学	京都ジョブパーククラス

参加学生 (登壇者★)	★池永 有花(社会 学部)3回生 ★榎本 喜奈(社会 学部)3回生 ★西嶋 秀太(社会 学部)3回生 ★平井 孝洋(社会 学部)3回生 ★松井 滉(社会 学部)3回生 ・松田 太輔(社会 学部)3回生 ・松本征史郎(社会 学部)3回生	連携先からの ミッション	アフターコロナのグローバルな視点で新しい働き方「メンバーシップ型」「ジョブ型」について企業・行政・大学の役割とキャリアデザインの在り方
活動期間	2021.6.1 2022. 1. 26	受け入れ先 団体・企業名	京都ジョブパーク

ミッションへ取り組み概要(自由記述, 図表・画像挿入可)

1. 我々のプロジェクトの要旨

私たちのプロジェクトは、京都ジョブパークと連携して、『アフターコロナのグローバルな視点で新しい働き方「メンバーシップ型」「ジョブ型」について企業・行政・大学の役割とキャリアデザインの在り方』についてである。このプロジェクトは主に、インターンシップや、新しい大学のカリキュラムについて大学・企業・行政の三視点から説いていくものである。

2. 企業の概要

ここでは、学生のインターンシップの参加目的や、インターンシップ参加後の選考状況・さらに企業からの視点などを多角的に考察してのものである。

3. 大学の概要

ここでは大学のカリキュラムを中心に考察した。全ての学年での具体的に新しいカリキュラムを提案。

また、就活に関して、学生同士で相互に悩みなどの共有ができるツールの開発なども視野に検討した。

さらに、入社を10月にすることや、長期のインターンシップに参加することを前提に大学の卒業時期を9月卒業と3月卒業を選択できることなども提言の中に盛り込んだ。

4. 行政の概要

ここでは、企業とのマッチングや、現在も行っている面談、企業などと連携した限定のインターンシップなどを企画することを提案した。

就職後の離職率を減らすためのスキルアップのための研修(講習)などについても併せて提案を行った。

続いて現在ジョブパークが行っている各種イベントの見直しについても提案を行い、その中でも就活年次生対象のイベントについて他府県のイベントなどを参考にしたより多くの学生が参加してくれるような方法を提案した。

ミッションに取り組む中で社会的課題として見えてきたこと(ミッションと深く関わる社会的な課題)

ミッションでは、社会(主として京都府)において若者が府外に流出していくこと、グローバルな社会において日本の現行の働き方ではグローバルスタンダードに追いつくことが困難であること、そのような働き方のままでは海外(留学生を念頭に)からの人材が日本で働かなくなっていくことが課題として見えてきた。

また、インターンシップ実施において企業側の狙いと、学生の目的が違うことも課題として明らかになった。